

★桐商生に読んで欲しい本のご紹介★

『13歳からのアントレプレナーシップ（生井秀一先生著）』



*かんき出版 HP & 花王 HP より引用

本書の著者は、みなさんもよく知っている企業の『花王』で『DX 推進部長』を務めたのち、『茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校の校長』として『アントレプレナーシップ教育』を展開している生井秀一（なまい しゅういち）校長先生。

私はまだお目にかかったことはないのですが、ベネッセ主催のオンライン研究会でご一緒し、情報交換などをしてもらったことがある方です。それ以来、生井先生のSNSとつながらせていただき、さまざまな活動を勉強させていただいております！

そして、今回は本を出版されたということで、すべて読ませていただき、『これは桐商生に読んでもらいたい一冊だ！』と思ったので、記事にさせていただきます！

『13歳からの～』とありますが、私も大いに勉強になりました！『高校生』にも最適な本だと思います！

まず、聞きなれないコトバ『アントレプレナーシップ』とは、しばしば『起業家精神』と翻訳されることが多いのですが、生井先生は『起業』についてではなく、日常の『考え方』や『行動』、『非認知能力』についてお書きになっています！





周囲とうまく強調しながら、困難にぶつかってもしなやかに乗り越え、自分のキャリアや目標を達成する。『アントレプレナーシップ』は、自らビジネスを起こす人だけではなく、『高校生』として『自分のいる場所』で自ら輝くために、また、『他者の幸せ』のために、求められている能力だと言えます！この能力を中高生のうちに身につけておくことで、『自分の人生は自分で豊かにし、どんな組織に身を置いても価値を生み出せる人』になることができます！すなわち、『SPARK for our well-being！』で掲げている『Agency』『Resilience』『well-being』と方向性は同じであると言ってもよいと私は感じました！

生井先生は、1999年、花王販売株式会社の水戸の営業支店から始まり、2012年、花王株式会社に出向し、メリットシャンプーのブランドマーケティングを担当しました。

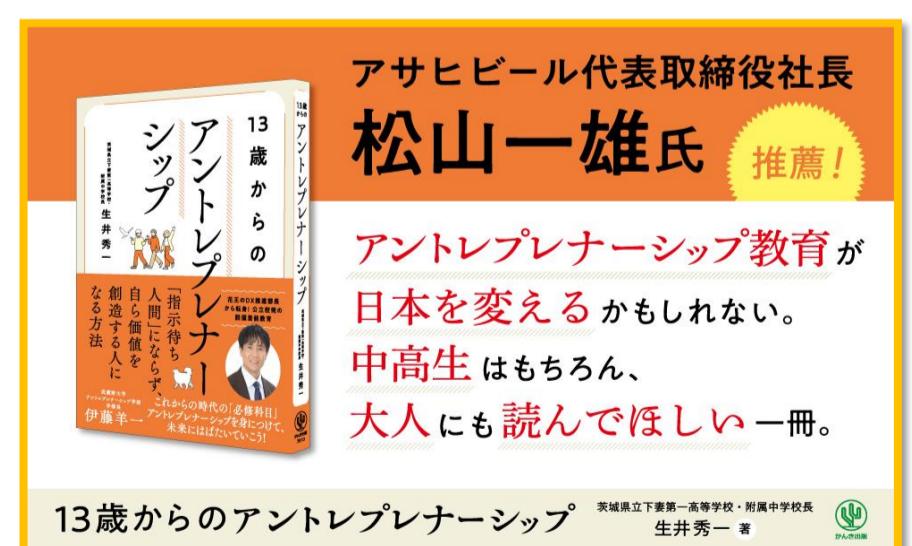
2023年に早稲田大学大学院を修了し、経営学修士・MBAを取得。花王を退社し、『茨城県民間校長公募』に応募し、応募者1,645名中3名の合格者の1人となり、茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校の副校長に就任し、そして、2024年4月1日付で茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校校長に就任しました。

その傍ら『吉本興業』に『文化人』として所属し、ラジオパーソナリティも務めた経歴もある方です。『花王』での人生、そして『民間人校長』へ転身したキャリアを通じ、

『すべての人が自分の人生を自分らしく切り拓いていくために不可欠な力』＝『アントレプレナーシップ』の重要性を下妻一高の生徒だけでなく、日本中に訴えていらっしゃいます！

『朝の読書』や『夏の読書』として手に取ってみてはいかがでしょうか？本校の図書館にも入れてもらおうと思います！保護者の方々にもぜひ手に取っていただければと思います！お子様にぜひ、おすすめください！

『指示待ち人間』にならず、『自ら価値を創造する人』になる方法！と本の帯に書いてあります！ぜひとも桐商生にめざしてもらいたい方向性が書かれています！私の目指す方向も同様です！一緒に『アントレプレナーシップ』を目指しませんか？



生井先生にこのJournalの発行許可をいただきました！その際に桐商生へのメッセージをお願いしたところ、次の言葉をいただきました！『意味』を考えるところから始めてみてはいかがでしょうか？

～『世界は踏み出す人の前にある』生井秀一～

校長 星野 亨